



ほらぐちともこ通信

杉並区議会議員(東京西部ユニオン特別執行委員)の区政報告 第8号

2019年6月12日

初の一般質問に立ちました！



病院跡地に
小学校移転!?
土壌汚染は大丈夫?

杉一小跡地には
何ができるの!?

5月30日から選挙後初の定例会が始まりました。
ほらぐちは、5月31日に初めての一般質問に立ちました。

①9条改憲に反対の立場から田中区長の政治姿勢について、②阿佐ヶ谷再開発について(裏面参照)、③幼保無償化について、④無実の政治犯・星野文昭さんの再審支援について質問しました。

阿佐ヶ谷北東地区の再開発計画について、いまだに計画自体を知らない多くの住民がいるにもかかわらず、「決まったこと」と強弁し、河北病院跡地の土壌汚染や杉一小の跡地について何も答えませんでした。

阿佐ヶ谷の再開発計画は杉並全体に関わる重要な問題です。西荻や高円寺でも同じような構造で再開発が狙われています。今後も議会内外で住民・労働者とともに、この計画の白紙撤回を求めていきます！

問題だらけの

阿佐ヶ谷再開発を追及！

ほらぐちともこ（洞口朋子）杉並区議会議員

Twitter @HoraguchiTomoko

メール info@horaguchitomoko.jp

〔荻窪事務所〕

〒167-0032 杉並区天沼2-3-7 さかいビル2A

TEL&FAX 03-3329-8813 (都政を革新する会)

「ほらぐちともこ通信」
へのご意見・ご感想
はメールでどうぞ！



ほらぐちともこの一般質問(要旨)

憲法9条改悪と戦争に絶対反対！

区長は以前、改憲について「安倍首相は憲法審査会での議論を深めると述べているので、その動向を注視していく」と答弁しています。安倍首相の主張に沿うように考えられますが、区長の現在の政治姿勢をお答えください。

また、これまでのすべての戦争は「自衛」の名のもとに遂行されてきました。「自衛戦争」の容認は侵略戦争への加担につながると考えますが区長のお考えをお聞かせください。

住民無視の再開発は絶対に許さない

次に阿佐ヶ谷の再開発について質問します。5月24日の「阿佐ヶ谷駅北東地区地区計画(素案)」の説明会では十数人の区民がこの計画に反対の意見を述べました(写真右上)。

「住民投票をやるべき問題だ」「立ち退きを余儀なくされる住民のことをどう考えているのか」などの怒りの声が上がりました。

そもそもこの計画はいつ、誰が、どのように決めたのですか？

病院跡地の土壤汚染の可能性

次に「土壤汚染対策」について。そもそも、なぜ土壤汚染の可能性のある河北病院跡地に小学校を移転させなければいけないのですか？

また、子どもたちの校庭に使う用地の汚染物質を全面的に除去させる「除去措置」をなぜ基本協定書に規定しなかったのでしょうか？

「何も決まっていない」は嘘だ！

杉一小学校の跡地利用に関して区長は、「まだ何も決まっていない」と強弁していますが、地区計画を見るだけでも大規模商業施設を見込んでいることは明らかです。



保育の民営化やめ公立保育所増設を

「待機児童ゼロ」のかけ声のもと、民営の保育所ばかりが急増していますが、その保育施設での園庭整備状況は直営の保育所と比較して格差が生じている事実はありませんか。「待機児童ゼロ」政策が、園庭も未整備な認可施設の急増をもたらしていると考えますが、杉並区としての見解を示してください。

星野文昭さんの再審を区として支援せよ

無実の政治犯・星野文昭さんが5月30日夜、収容先の医療センターで亡くなりました。獄中44年間、一貫して無実を訴え続けていました。

星野さんのお連れ合いの暁子さん(写真下)は杉並区在住です。再審無罪を訴え闘う区民への支援を区として行うべきと考えます。

